



カタクチイワシ

太平洋系群

主な漁業と漁期

未成魚・成魚
定置網：周年

カタクチシラス

船曳網：3月～翌年1月

生態

カタクチイワシはマイワシと同様に日本に生息する代表的な浮魚の1つです。

●分布・回遊

九州から北海道までの太平洋沿岸、さらに、親潮の影響を受ける海域にも分布しています。また、太平洋沖合の東経170度にも分布していますが、ほとんど漁獲対象とはなっていません。

静岡県海域に分布するカタクチイワシは太平洋系群に属しています。

●産卵期・産卵場

産卵期：周年(冬季を除く)で、最盛期は4～8月。

産卵場：資源が低水準期では内湾から沿岸、高水準期には沖合まで広がります。



カタクチシラス

産まれて2か月程度で3cmほどに成長します(左写真)。



カタクチイワシ成魚

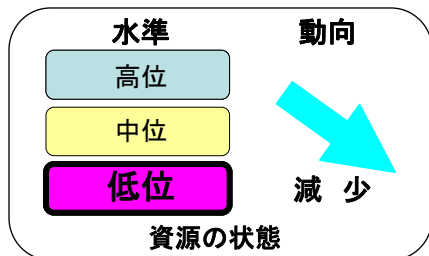
●成長・成熟

寿命は4年とされています。満1歳の被鱗体長は8cm程度、2歳では13cm、3歳では14.5 cm程度ですが、海域によって多少の差があります。

また、満1歳で成熟します。

漁業・資源動向

【資源】



- 2016年の資源評価では、太平洋系群の資源水準は低位、減少傾向にあると判断されています。
- 本系群の2015年の親魚量は6.7万トンと推定され、それ以下では資源回復措置が必要な親魚量の閾値(13.0万トン)を下回っていると判断されたため、資源の回復が期待される漁獲量が設定されています。

《国の資源評価へのリンクはこちら》

ダイジェスト版

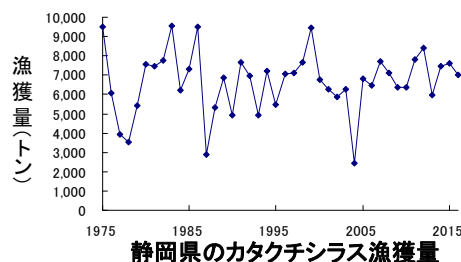
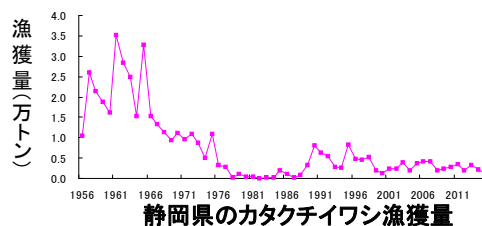
<http://abchan.fra.go.jp/digests28/html/2824.html>

詳細版

<http://abchan.fra.go.jp/digests28/details/2824.pdf>

【漁業】

- 静岡県では、未成魚・成魚は主にまき網や定置網で漁獲されますが、仔魚期はシラス(カタクチシラス)として漁獲されます。
- 静岡県内のカタクチイワシ漁獲量は1980年代までは減少傾向にありましたが、1990年以降は増減を繰り返しながらも横ばい傾向にあります。
- 静岡県で漁獲されるシラスは、カタクチシラスがほとんどで、9割以上を占めます。



担当者の一言：静岡県のカタクチシラスは鮮度が抜群。全国的にも高い評価を受けています。

問合せ先

静岡県水産技術研究所資源海洋科 054-627-1817